

社長!! リゼロの実績を要チェック!! & 対応遅れるとホント潰れるよ!!

グローバルアミューズメント株式会社
代表取締役 青山 真将樹

Hondaのマーケティングプロジェクトリーダーとして新商品の開発企画に従事。
企画商品は「日本カーオブザイヤー」、「日経新聞大賞」など各賞を獲得。

2007年、とあるコンサル会社に入社。在籍6年9か月で4度の
「年間最多コンサルティング受注」を獲得、現役最強トップコンサルタントとして
突出した存在となる。2013年12月、パチンコ・パチスロの機械評価・市場分析に
特化した、コンサル&シンクタンク会社グローバルアミューズメント株式会社を設立。
現在、ホール&メーカー双方から支持される業界唯一のコンサルタントであり経営者。



皆様、こんにちは!! グローバルアミューズメント株式会社 代表取締役 青山真将樹
です。本日は後半戦のパチスロ市況に向けた考察記事をご提供させていただきます。
よろしくお申し上げます。

■社長!! リゼロは大負債機種になってます!!

現場の判断にまかせると、ホントに会社が傾くよ!!

以下がHC会社各社の実績を鑑みたここまでの“リゼロ”の累積収益実績です。

一投入時期一	一設置台数-	-累積粗利-
・3月～4月導入	1.5万台	65～75万前後 (19週～23週実績)
・5月増台	1.5万台	16～18万前後 (12週間実績)
・7月増台	2.0万台	1万円程度 (3週間実績)

発売当初はコンスタントに6千円～8千円の台粗利が確保できていたリゼロですが、
5月増台以降は台粗利2千円すら確保できていません。7月増台以降の3週間では
ほぼ“利益ゼロ” (利ゼロ) という状況です。本来、機種に力がある機械なら、設置

台数増→薄利競争とともに、“リゼロ市場”は拡大しても良いのですが、ここまでの
大放しをしていながら、IN枚数は下がり続け、おそらく8月末頃迄には薄利営業を
続けたとしても1万枚をキープするのも困難になってくるでしょう。そのような状態で
9月に3万台設置。且つ、版權的に“メイン客層被り”の“まどまぎ3”が登場すると、
IN枚数は7500～8000枚程度まで下がるでしょう。このタイプの機械の“恐怖”は実は
そこからが本番です。IN枚数がそこまで下がると、「低設定を使っても全く粗利が
取れない機械 (多分1500円以下) になると考えます。つまり、このまま進むと、リゼロは
「5スロ並みの低収益しか確保できない、超不採算コーナー」になると考えます。
社長、そろそろ認識しましょう。

「リゼロの後追い導入は失敗施策です。しかし、多くの 現場はそれを認めることができずに、無駄放出を続け ています。このままだと、会社がすっと～ん、です。」

リゼロのようなゲーム数管理タイプは、5号機中期頃に大流行したのですが、
決まったゲーム数を回すだけのゲーム性でパチスロとしては本流ではありません。
且つ、リゼロは版權的に客層の幅が狭く、若者比率が高めのために、“特に低設定
が避けられる機械”だと考えます。今後、北斗の拳などもゲーム数管理機での
登場が噂されていますが、“4号機版權”の方がサラリーマン世代・おじさん世代が
触ってくれますので、まだ、ゲーム数管理機であっても「稼働と粗利のバランス」が
取り易いと想定しています。4号機版權で同タイプが出てくるとリゼロは全く動かない
機械になると予想しています。市場全体が非常にリスク大の方向に進んでおります
のでFAXにてお知らせいたしました。自社店舗のリゼロが過剰に薄利で稼働を維持
しているか必ず社長自らチェック頂き、止めた方が良くとお考えでしたら。

i) 値段のつくうちに中古売却 (9月から動くのは遅いです)

ii) 早めの5スロ移動

を強くおススメいたします。リゼロの実績チェックは必ず実行してください。
本日も最後までお読み頂きありがとうございました。